

京都から行ける

近江の

山々

## ⑤ 猪背山



猪背山は、大津市の近江湖南アルプスとして親しまれている太神山、笹間ヶ岳の南に位置する静かな里山である。山容が猪の背中に似ていることから名づけられたという＝写真①。

登山口は、石山から信楽

に抜ける国道422号に面している。甲賀市コミュニティバス協出バス停から信楽方面に歩くと、右手前方に「猪背山登山口」と赤い矢印で示した大きな看板が目につく。そこから少し行くと左手に金網の扉があり、「猪背山登山口」の標識がある＝写真②。

扉とガードレールの間から山道に入る。踏み跡を20ほど進むと左手に階段状の道がある。ここからが本格的な登山道となりいきなり数十分の急登で驚かされるが、登り切るとよく踏みしめられた尾根道に出る。

歩きやすい道を右へと進む。杉とヒノキの植林の中をのんびりと歩いて行こう。やがて自然の雑木林も加わり、新緑の頃は木漏れ日が美しい。時々細い尾根道となり、変化のある歩きが楽しめる。しばしば行くこと

## 干支の名付いた 静かな里山



道端に小さな水たまりがある。猪や鹿といった動物が、体表についているタニなどを落とし、体を冷やすために泥水を浴びる「ヌタ場」だ。登山者の少ない里山では、野生の動物に出合うこともあるので注意しよう。間もなく右手前方に青い屋根の祠が見えてくる。この辺りが頂上までの中間地点となるのでちょっと一休みしよう。



くが、登り切つてしばらくすると少し開けた山頂に到着する＝写真③。残念ながら山頂からの展望はない。三等三角点と「十二支会」としてした山頂標識がある。下山は元の道へ戻ろう。登山口から頂上まで道標はないが、このコースは登山道がはっきりしていて迷うことはない。登山者の少ない里山は、道のはっきりしないところが多く、道迷いを起こしやすい。国土地理院発行の地形図とスマホアプリを併用し、自分の位置を確認して安全登山を心掛けよう。歩行距離約5キロ、歩行時間約3時間。



虎子山、虎御前山、竜王山、巳高山、蛇ヶ峰、庚申山、鶏冠山、猪ノ鼻ヶ岳などが踏みしめながらの急登が続く。この滋賀県にも日本山岳会京都・滋賀支部・中川寛

＝次回は9月15日掲載予定

アクセス JR石山駅、京阪石山寺から京阪バスの大石小学校行きに乗り、大石小学校から甲賀市コミュ

ニティバスで協出下車。コミバスの本数が少ないのでマイカー利用が便利。